

## 編 集 後 記

初めて編集委員の責務の一つである編集後記を書かせていただきます。いささか、緊張しながら。

最近の世界の動きはめまぐるしく、まさに「波に眼を 向けているうちに 砂嵐(1月23日 朝日川柳)」。20万人以上の方が飲み込まれたスマトラ沖の巨大津波、そして毎日のように20、30人の人々が理不尽に殺され、ただ死んだ個々人は消し飛び、数値としての死しか記録されないイラク戦争。アメリカ大統領は、2期目の就任演説で「自由を守るために」戦いつづけると高らかに宣言し、アメリカ的自由、アメリカの勝手気ままにふるまう自由のための戦いを宣言し、その陰で死んでゆく人々に、一顧だにしない姿勢を貫く…。さらには、イラク一国で飽き足らず(それだけで手に余っているのに)、アメリカの意に添わない5カ国名をあげつらい、戦線の拡大を辞さない姿勢すら宣言している、これに小泉さんは唯々諾々と従っていくのでしょうか。

なんだか、編集後記にしては、おかしな調子になってきました。

この号を手にとられた方は、まず掲載論文の数に驚かされるのではないのでしょうか。編集委員として、何ものにも代えがたい喜びですが、なんと11編！ 総ページは100ページ近くなり、まさに空前の、決して絶後にはしたくない壮観です。また内容もきわめて高く、各方面にわたり、文字通り「明日の臨床」に役立つものが満載されています。現在、実地臨床で問題になっている方面の貴重な論文、報告が目白押しです。きっとお役に立つものと確信し、診察室のデスクに置いて、何かの折にページを開いて欲しい、否、開きたくなるものとなることを確信します。

この「明日の臨床」は、日本医学中央雑誌にも掲載され、全国の医療関係者の目に触れる機会が確保されており、また、全国の医科・歯科系大学の図書館へも送付しており、これが引用される機会も増してくるものと確信しています。その意味からも会員の皆様からの、総説、原著、症例報告、治療ガイドラインの紹介をはじめ、提案、質問(質問コーナーがあってもいいですね)など、積極的な投稿をお待ちしております、そして、真に会員による、会員のための、会員の医学雑誌に育て上げて欲しいと願っています。

[杉藤徹志]

---

### 編 集 委 員 (50音順 \*印委員長)

額 田 協*	池 山 淳	杉 藤 徹 志
高 橋 英 世	松 本 美 富 士	

---

明日の臨床

Vol.16 No.2

2004年12月25日発行

編 集 明日の臨床編集委員会

発行所 愛知県保険医協会

〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

☎ (052) 832-1345

制 作 (株)東海共同印刷

---

頒価 1,000円・発行部数 6,900部